

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は葬儀依頼がとても多い。寒い日が続いたり、気圧の変化する日が多かったこともあるようである。喪主の年齢が変わってきていると、実感している。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第6波と大雪の影響で、来客数は減少しているが買上点数は増加している。既存店では前年比プラスとなっている。
	○	スーパー（経営者）	来客数の動き	・2月1～28日まで当市では、地域応援クーポン事業を行っている。500円クーポン券が新聞に折り込まれ、当店に初めて来店する客がとても多い。1000円以上の買物で500円クーポン券が使えるため、人によっては20分も店内をはいかいし、何とか1300円位の買物をしている。どうやって有効に500円券を必要な物に使うか、迷っているようである。
	○	スーパー（店長）	単価の動き	・買上点数、1品単価共に、前年並みで推移している。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、実家に戻って仕事をする時間が多くなったり、また、都心部よりUターン就職した方も多。当県では車がないと非常に不便なため、車両整備や販売も3か月前より良くなっている。
	○	高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用により時短要請が出ているが、「時短でも酒類の提供」を選択した結果、少人数ではあるものの新規や常連客の予約が入り、テイクアウト予約も好調である。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が早く良くなってくれないと、ますます客の動きが悪くなるので困る。特に、今月はまん延防止等重点措置が適用されているので、客の動きは悪い。
	□	一般小売店〔薬〕（経営者）	お客様の様子	・客との話のなかで、景気の良い話題がない。新型コロナウイルスオミクロン株のまん延により、外に出掛けることも少ない。飲食店等の利用もなく、いろいろな部分で消費が低迷している。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・販売量の動きが2～3か月前とそれほど変わらない。特別上向いているわけでもなく、やや横ばいという気がしている。新型コロナウイルスの影響もあるが、そうはいつても、食べていかなければいけないが、余り以前と変わっていない。
	□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加や物価上昇に伴うものなので、やや悪いまま変わらない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年に比べて、降雪量が多いため、来客数が低迷している。
	□	自動車部品販売店（従業員）	来客数の動き	・前年に比べ来客数が減っており、更に半導体等の部品不足により商材入荷が減っていて、売上が伸びない状況にある。
	□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・節約志向の高まりか、高齢者世帯の保留や解約が増加してきている。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・新年度に向け、徐々に動きが活発になってきたが、例年に比べると、まだ落ち着いた様子である。
	□	観光名所（職員）	来客数の動き	・北京オリンピックの影響で、近隣スキー場への入込客が多少増えているものの、宿泊施設や街なかの飲食店への影響はなく、相変わらずの状況である。
	□	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・計画物件の量はあるものの、実際に進めていける物件は少ない。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・減らない新型コロナウイルスの新規感染者数に加え、行政からの外出自粛要請、更に立春過ぎとは思えぬ寒波である。人出は途絶えて、街の通りは常時がらんとしている。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、いろいろな店が開けたり閉めたりしている。当店でも、こんなにも客が来ないのかと思うほどで、よく分からない状態である。

▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・地域振興プレミアム付商品券での購入も落ち着き、新入学等の新生活を迎える時期ではあるが、消費者の購入意欲が見えてこない。いろいろな物の値上げといわれているなかで、消費者の財布のひもは固いままである。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、来客数がかかなり落ちている。
▲	スーパー（副店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数とロシアのウクライナへの侵攻（戦争）と、暗い話題ばかりである。実際、まん延防止等重点措置の適用で、在宅時間が増えたり、飲食店の時短等により、小売業の売上は実際伸びてはいるが、景気としては悪くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・北京オリンピックが閉幕し、ロシア情勢や新型コロナウイルス禍による影響で、やや悪くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣の施設で大規模なクラスターが発生し、来店する客が減っている。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月は週末が大分良くない。大学が始まってから、客は週末に余り外出しない感じで、今までと違って土日の売上や来客数が良くない。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用と期間延長により、来客数が減っており、新車販売やサービス入庫に影響が出ている。
▲	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の対象地域が拡大したことに伴い、人流が制限され、消費が落ち込んでいる。また、燃料、電気、ガスといった光熱費の上昇も重なり、レジャー消費を圧迫し始めている。
▲	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、収入は増えないのに物価が上がり、戦争も起きてしまい、重たい空気が漂っている。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置適用以降は、来客数が激減し、臨時休業を入れて営業日数も減らしているため、2月の月間売上は過去最低である。
×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・業務体系の見直しで、「スーツを着なくてもよい部署に配置転換になり、作る必要がなくなった」等、客から良い話が全く出てこない。
×	その他専門店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・今は個人客に支えられている。当地はまん延防止等重点措置が適用されていないが、街に人はいない。本来なら、飲食店に行ってもいいのだが、行かない状況が起きている。3月6日に解除されるか延長されるかわからないが、相変わらず先が見えない。今後の新型コロナウイルス新規感染者数、ウクライナの状況等、不規則なことに縛られて、なかなか先の見通せない非常に難しい状況である。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・2月はまん延防止等重点措置の時短要請が丸1か月続いたので、売上は開店以来最低である。支援金をもらえているので営業を続けられたが、支援がなかったら廃業を考えていたところである。
×	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、選択肢の全部が当てはまるような気がする。毎回同じだが、本当に新型コロナウイルスのせいだと思う。悪くなっていて本当に困っている。
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響により、当県にもまん延防止等重点措置が適用されて、来客の動きが急激にストップしている。
×	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・当県にも、まん延防止等重点措置が適用されたため、悪くなっている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による、まん延防止等重点措置の影響で、急激に来客数が減少している。予約分もほぼ全てキャンセルとなり、新型コロナウイルス禍で、最も悪い影響が出た月となっている。周辺地域では、夜になるとほとんど人がいない。
×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、宴会、レストランの3部門全てで、前月と比べ、売上が落ち、この1年で過去最低の売上月となっている。やはり、まん延防止等重点措置期間中というのが、かなり影響している。

	×	タクシー運転手	販売量の動き	・曜日でいうと土曜日も駄目である。時間帯でいうと夜はほとんど駄目で、11時～深夜2時頃までは1～2件しか仕事がない。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響が非常に大きく、来客数、売上共に、非常に低い水準である。毎日、新規感染者数が過去最高を更新している状況下では、客の来店意欲はそがれてしまっている。
	×	その他サービス [貸切バス] (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株へと置き換わって、中学生、小学生、園児等へ感染が広がったため、スクールバスや部活のバスもなくなり、死活問題である。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・半導体業界は好調である。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・電子部品の入荷があり、若干生産量が上がっている。
	□	食料品製造業 (総務担当)	それ以外	・原材料価格の高騰に続き、燃料費等の上昇が懸念される。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に、低迷が続いている。
	□	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・製造業受注は底堅く推移しているが、半導体不足の影響や原材料価格上昇の影響が広がっている。非製造業は飲食関連を中心に、弱い動きが続いている。
	▲	建設業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・資材価格の高騰で、長期の見積ができない。また、資材納期も不確定で、工期内の竣工が厳しい状況である。
	▲	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の収束が見えないことと、ロシア軍のウクライナ侵攻等、今後が分からない状況にある。
	▲	新聞販売店 [広告] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置期間が延長され、イベント等の企画が中止となり、広告出稿も抑えられている。燃料価格高騰による費用増も目立っている。
	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・原材料価格が値上がりし、ここに来て、フィルム、パック、添加物といった製品原価にかかわる物が全て値上げとなっている。商材自体はまだ値上げができていないので、かなり大変な事態になってきている。
	×	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の猛威は一向に収まらず、酒販店や飲食店からの受注は激減している。さらに来県者も減少しており、工場見学者も大幅にダウンしている。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・前年暮れから1月まで続いた好調さが、2月に入って新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で影を潜め、2月に予定していたが3月に延期された催事もあり、売上は前年比20%ほどダウンしている。小売店の店頭も閑散としている。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、飲食店等の客足が落ちたが、一時的なものだったのか求人は余り減少していない。宿泊業も、当県は、まん延防止等重点措置の適用がないためか、他県からの宿泊客が多いようである。
	▲	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・新規採用したい等の相談は多いものの、雇用条件等を検討はしても変更しないため、人が集まらない。売上増が見込めないため、仕方がないこともあるが、条件等を根本的に見直さなければ、人材不足は続く。
	▲	職業安定所 (職員)	それ以外	・賃金上昇がないなか、税負担やステルス値上げなど、生活の質が低下しているため、やや悪くなっている。
	×	—	—	—